

# ASP中の人目線での ISPサービス運営の変遷 ～所有から利用へ～



2019/11/29

IIIJ: 衣笠 茂浩

はじめに

- **話者: IIJ 衣笠 茂浩**

- ISPシステム担当歴16年

- Eメール・HP・DNS・RADIUS等

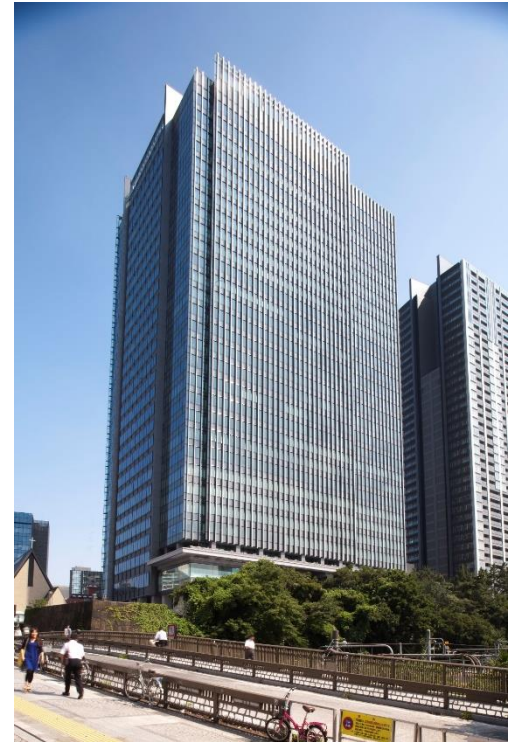
- 総移行回数: 2桁

- のべ移行アカウント: 900万

- **仕事:**

- ISP向 ASP・オンプレ構築

- アーキテクト(提案～運用)



飯田橋本社

- **IJはISPを支えるサービスを重要視**
  - Eメール・ホームページ
  - DNS
  - RADIUS・DHCP
  
  - IPoE
  - バックボーン運用・トランジット
  - MVNO
- **オンプレミス構築・ASPを提供**

## 2011年～ASP・オンプレ時代

- 2019年：数百万規模メールASP 導入
- 2018年：
  - 数十万規模メールASP導入
  - 新メールASP立ち上げ
- 2017年：数十万規模 導入
- 2015-16年：数百万規模 導入
- 2013-14年：
  - 数百万規模導入
  - 数十万規模導入
- 2011年：メールASP立ち上げ

## 2003年～2010年 オンプレ時代

- 2009年-2011年：数十万規模導入
- 2007年-2008年：数十万規模導入
- 2006年：数万規模導入
- 2005年：
  - 数十万規模導入
  - 数万規模導入
- 2004年：数十万規模導入
- 2003年：数十万規模導入

ここ数年でASPに大きくシフト中

**講演内容は話者の私見であり、会社を代表した意見では無い点をご留意願います。**

**話者はISPのサーバサイド業務を一式経験していますが、特にEメール歴が長いので、Eメールの話が多めです**

# 2000年代～ オンプレで日本全国行脚

## ISP 自社運営が 当たり前

- 技術好きな人間はISPに
- 十分な体制（今と比較して）
- システム停止にも（やや）おおらか（だった）

## ISP 自社構築も 多かった

- 重要な技術蓄積とみられていた



## ISP基本サービスで差別化

- 固定回線
- Eメール
- ホームページ
- ML

## 基盤インフラは安定の顔ぶれ（現在に続く）

- DNS・DHCP
- RADIUS・PPPoE

# システムリプレースは一大イベント！

- Eメール・固定回線は花形サービス
- 投資が許容されていた

#	2000年前半	2000年後半
利用者	PCメイン・ガラケー	PC・ガラケー
回線帯域	数Mbps - 100Mbps	最大1Gbps
Eメール	<ul style="list-style-type: none"> <li>• メールボックス: 数十MB</li> <li>• アンチウイルス</li> <li>• 簡易的なWebメール</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>• メールボックス: ~ 数百MB・ギガメール</li> <li>• Webメール</li> <li>• アンチウイルス</li> <li>• アンチスパム</li> </ul>
ホームページ	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 容量: 10M - 50M</li> <li>• 容量拡張毎に 数百円</li> <li>• 簡易的なCGI</li> </ul>	同左 (大きな変更無し)
ML	有償提供	同左 (大きな変更無し)

# 日本全国 オンプレ構築実施

- 楽しい出張の日々

## ASP実績ゼロ

- ISPに人員がそろっていた
- アウトソースコストが高く見えた

# 2010年 ~ 2016年 ASPの登場

## 世の中の動き:

- スマートフォン・SNS・Gmail
- クラウド化

## ISP側事情

- システム難度の上昇
  - データの大容量化
  - サイト障害対応 (DR)
  - セキュリティ対策

# ISP基本サービスの差別化が難しくなる

- 回線
  - 価格・速度で差がつきにくく
- Eメール
  - 実は大きな進歩が見られたが . . . .
    - ギガメール
    - スマホ対応(IMAP)
  - ID用途が増える
    - コミュニケーションはSNSにシフト
- ホームページ・ML: 変化無し

## ASPの登場

- 小規模ISPのEメール・HPのアウトソースが増加
- 中小ISPでフレッツ事業 アウトソースが加速

## まだオンプレに優位性は残っていた

- 大規模・中規模ISPはオンプレ盛況

## 新領域アウトソースが出現

- MVNO

# 2017年～現在・未来 ASPがオンプレを逆転！



## 世の中の動き:

- SNS・スマートフォン・クラウド全盛

## ISP側の事情

- サービスが多様化
  - ISP基本サービスでの差別化はもはや困難
- 技術者の高齢化・不足
- 災害・DC障害・セキュリティ対策が高度化

**重点サービスに注力したいが体力が不足・**

# ASP >= オンプレ時代の到来

## スペック

### ASP >= オンプレ

- 基本スペック向上
- IPv6対応
- 運用自動化
- 管理ツールの高度化
- バージョンアップ
- 脆弱性対応
- サイト障害対応



## コスト

### ASP <= オンプレ

- 大規模投資回避
- 従量課金



## リソース

### 自社リソース保護

### 退職リスク回避



当日のみ

## いろいろなアウトソース要望が増加

- DNS（権威・キャッシュ）
- RADIUS・DHCP

## 他アウトソースサービスも伸びている

- IPoE
- MVNO

# アウトソースがわくわくの入り口に！

1. 身軽になる！



2. 大切なことにリソースを使う！



3. 成果が出てもっとわくわく！



# 移行がととても（ととても）重要です

- **業務を熟知したエース技術者アサインを強く推奨**
  - **最大のトラブル防止方法**
- **十分な時間と計画が必要**

**移行は最もトラブるので、  
トラブらない体制・業務調整がととても大切です**

# まとめ

- **時代とともにISP運営・サービスは大きく変遷**
- **ASPがついにオンプレを上回る**
- **アウトソースは、わくわくするための入り口**
- **移行トラブルを回避するために十分な対策を**



ご清聴ありがとうございました。

本書には、株式会社インターネットイニシアティブに権利の帰属する秘密情報が含まれています。本書の著作権は、当社に帰属し、日本の著作権法及び国際条約により保護されており、著作権者の事前の書面による許諾がなければ、複製・翻案・公衆送信等できません。IIJ、Internet Initiative Japanは、株式会社インターネットイニシアティブの商標または登録商標です。その他、本書に掲載されている商品名、会社名等は各会社の商号、商標または登録商標です。本文中では™、®マークは表示していません。

© Internet Initiative Japan Inc. All rights reserved. 本サービスの仕様、及び本書に記載されている事柄は、将来予告なしに変更することがあります。